

いったい 今まで、どのくらい多くの人が、

家づくりに悩み苦しんできたのだろう。

## はじめに

家を建てようとする時、誰もが一度は真剣に悩みます。

「私たち家族にとって、いい家とはどんな家だろうか？」

「手持ちの資金で、どれだけの家を建てられるのだろうか？」

「希望を聞いてくれる、任せても安心な業者はあるの？」

さらにこのような悩みを解決しようとする、今度はまた別の不安が出てきます。

「ひとつの業者に相談して、断りづらくないだろうか？」

「営業の人にせかさねながら、家づくりをするのは嫌だな。」

それでも、なんとか家づくりの情報を得たいと、あなたは既に家を建てたことがある友人に相談するかもしれません。また、本屋さんに行って住宅雑誌を

購入して研究する方もいるでしょう。

そして、最も多くの方が歩む道が、「ひとつモデルハウスでも見に行くか！」と、総合住宅展示場へ出掛けることなのです。

初めて家を建てる人には、外観のデザインやキッチンなどの設備に目がいつて肝心な所を見落とす事が多いようです。

必ずと言っていいほど犯してしまう失敗があります。

どんな点かチェックしていきましょう。

## \* 「驚いては、いけない」

玄関に入るとすぐに「ワァー広い！」と思われるはずです。当たり前です。一般の家庭では、玄関は、大きくても2メートル×2メートル位です。

モデルハウスの玄関は大勢のお客さんが来ても、接客しやすいように大きく広く作つてあるのです。

間違っても「こんな玄関になるのね」とは思わないで下さい。普通の家であんな玄関を見たことがありますか？まず玄関で驚かせる作戦なのです。ここで驚いたら営業マンの思う壺です。驚くのをじっとこらえて冷静になって、中へお進み下さい。

## \* 「ワクワクせずには厳しい目で」

玄関に入ってそのままリビングに行き、そこで

「まあ、素敵な応接セット」「カーテンが可愛い」などと、ワクワクし始めたら赤信号です。

本当にチェックしなければいけない箇所を見落としてしまうのは明白です。モデルハウスは別名、「大人のデイズニールランド」と言われています。

それくらい楽しく夢のある作りにはしてあるのです。あなたは夢の世界に入り込むことなく、厳しい目で確認していきましよう。

誤解のないように お伝えしておきますが、わたしは、

「モデルハウスを見ては絶対に駄目だ！」とか

「そのような住宅業者からは家を買ってはいけない」と言っているのでは  
ありません。

勇気を出して踏み出した「はじめの一步」が、納得できない家づくりへ向かう  
ような事になって欲しくないだけです。

また、無理して家を建てたばかりに大好きな趣味が何もできなくなった。  
ローンの返済のために、奥さまが夜のアルバイトに出なければならなくなった。  
あなたにはそんなつらい想いを味わって欲しくないと思っていますだけです。

「じゃあ、どうやって家づくりの情報を集めたらいいの？」

「モデルハウスを見なければ、実感がわかないよ・・・」

そんな声が聞こえてきそうです。

この小冊子を読むと、そのような悩みが解決できます。

この小冊子は、「これから家づくりを始めたけれど、何から始めてよいのかわからない」という方の為に、心を込めて書いたものです。

住宅会社の立場からではなく、あなたと同じ家づくりをする人の声を集めてできた**ガイドブック**なのです。

この小冊子を読むことで「住宅業界の本来あるべき姿とはどのようなものか」をお伝えすることができ「家づくりの夢を叶える為にはどうすればよいか」を感じとっていただければ、こんなに嬉しいことはありません。

家づくりは一生に一度の大事業です。比較検討する前に、おまかせする業者を決めることができないのは当然のことです。なかなか決断できないのは、あなたのせいではありません。

しかし、まずは「はじめの一步」を踏み出さないと、家はいつまでたっても建築できないのも事実です。はじめの一步の踏み出し方がわからず、一年、また一年と時間だけが過ぎていく場合もあるでしょう。

この一冊を読んで頂くことで、「どんな住宅会社と話をしても、もう安心だ」  
そのように思っていただけだと思います。

なぜなら、この小冊子を読み終わった時点で、あなたは、  
家は、業者の言いなりで建築するのではなく、

**あなたが納得して建築しなければならぬ**

ということについて、理解できているはずだからです。

**この小冊子をあなたの家づくりのガイドブックとして、**

**また、業者選びの基準としてお役立て下さい。**